

介護概論

専門教育科目 / 4 単位 / T 授業

担当教員 貫 優美子

■使用テキスト 介護福祉士養成講座編集委員会（編）
『新・介護福祉士養成講座 3 巻 介護の基本 I 第 3 版』中央法規出版 2016

◆参考テキスト 社会福祉法人全国社会福祉協議会 編集委員会/編『介護概論』
社会福祉士養成講座編集委員会「高齢者に対する支援と介護保険制度」

講義概要・一般目標

社会福祉および保健・医療における介護の諸問題について考察し、介護関係が優れた人格的交わりの中になされる行為であることを学習する。また、当事者の生活の質およびその継続性を確保するために、介護の目的と役割、保健・医療との関係、基本的な介護技法、介護の援助関係、さらに介護活動の場に特有な介護技法、安全な介護等について学習し、介護の基本と応用についても理解できるようにする。

到達目標

- 1) 生活とはなにか、自分たちの生活や家族の生活を深くみつめ、様々な生活の違いがあることを説明できる。
- 2) 高齢者や障害をもった人たちの暮らしについて説明できる。
- 3) 高齢者の生きてきた時代背景を理解する。
- 4) 利用者の生活環境を整えるためには何が必要か説明できる。
- 5) 介護・福祉の成り立ちや歴史的背景を説明できる。
- 6) QOL、ノーマライゼーションについて説明できる。
- 7) 人間の尊厳とは何か、また介護現場での尊厳を守るための介護について説明できる。
- 8) 高齢者や障がいのある人の生活を支援するための方策を説明できる。

評価方法

科目単位認定試験により評価。

学習指導

第 1 章 自立にむけた介護とは

この章のポイント

本章では、介護とは何か、歴史的な経過から介護がなぜ必要になったのかの成り立ちや考え方を理解し、生活支援としての介護の役割や専門性について学びます。

第 2 章 介護を必要とする人の理解

この章のポイント

本章では、自分たちの生活について基本的な理解を深めます。そのうえで、一人ひとりの「利用者の「生活ニーズ」を理解し、“その人らしさ”を大切にする介護の在りについて学びます。

第 3 章 介護のはたらきと基本的視点

この章のポイント

本章では、介護福祉士に求められている「尊厳を支える介護」の提供について、その考え方の理解を深めるとともに、介護職が行うさまざまな生活支援の意義について学びます。また介護を展開するうえで関わりの深い「ICF」「リハビリテーション」の考え方などについて学びます。